

御 建 第 306 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

静岡県御前崎市長 石 原 茂



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別添のとおり、今後の道路行政についての意見・提案の提出について回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県御前崎市

道路行政全般についての改善すべき点は、道路特定財源等に関する基本方針のなかで

- ① 道路関連公益法人や道路整備関係の特別会計関連支出の無駄を徹底的に排除する。
- ② 必要と判断される道路は着実に整備する。
- ③ 道路の中期計画は5年とし、最新の需要推計などを基礎に新たな整備計画を策定する。

特に、「必要と判断される道路」とありますが、判断するのは非常に難しいことではないかと考えられ、大変重要視され、注目されるところであります。

静岡県御前崎市におきましては、空港・港湾・新幹線駅等の交通アクセスや高規格幹線道路等との連結や拠点相互を連結する道路整備予算を確保していただき、一層の整備促進をお願いするものであります。

②-1 地域の現状と抱える課題

静岡県御前崎市

○現状

広域交通網へのアクセスといたしましては、県内の3重要港湾のひとつである御前崎港の物流輸送の拠点となっているため、大型トレーラー・トラックなどの交通輸送状況が激しいなか、交通量が非常に増加しており、国道1号、新幹線、鉄道、高速道路も通っていない御前崎市は、周辺地域を連結する「東名高速道路の掛川 I.C、菊川 I.C」へのアクセス道路は緊急課題であり、「主要地方道掛川浜岡線バイパス」の早期整備完成が急がれているところであります。

また、「国道150号4車線化」、「県道相良浜岡線道路改良」により、国道150号バイパス(南遠道路)須々木 I.C へのアクセス道路と「市道108号線(宮ヶ谷行僧原線)」から国道473号相良バイパスの大沢 I.C までのアクセス道路の早期整備により、安全、安心、交通ネットワークをめざす整備確保が強く望まれるところであります。

○課題

静岡県御前崎市におきましては、合併して5年目となり、平成21年3月の富士山静岡空港の開港予定と重要港湾の御前崎港など地域の実情を勘案し、地域間の連携や空港・港などの交通拠点との連結を視野に入れた道路整備が重要課題となっております。

②-2 地域の目指すべき将来像

静岡県御前崎市

地域の目指すべき将来像につきましては、次の三つを提案させていただきます。

- (1)中心都市と周辺地域を連結し、地域の集積を高める道路、もしくは、望ましい都市構造の形成を促す都市環状道路。
- (2)地域集積圏相互を連結し、高規格幹線道路網とあわせて地域の循環型ネットワークを形成する道路。
- (3)空港・港湾・新幹線駅等の交通拠点や地域開発拠点と高規格幹線道路等との連結や拠点相互を連結する道路。

地域の実情を踏まえまして、三提案をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

静岡県御前崎市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	国道150号4車線化事業 渋滞を解消するため、2車線化から4車線化に早期整備。 主要地方道掛川浜岡線道路拡幅事業 狭あい道路と渋滞を解消するための道路拡幅整備。	(期待する効果) 浜松市方面からの往来が容易になり地域交流と物流輸送が活性化される。 (評価) 渋滞が緩和され移動時間の短縮と安全性の確保 (期待する効果) 東名高速道路の掛川I.C、菊川I.Cからの往来が容易になり地域交流と物流輸送が活性化される。 (評価) 渋滞が緩和され移動時間の短縮と安全性の確保	